

「スタンプを自作する(3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

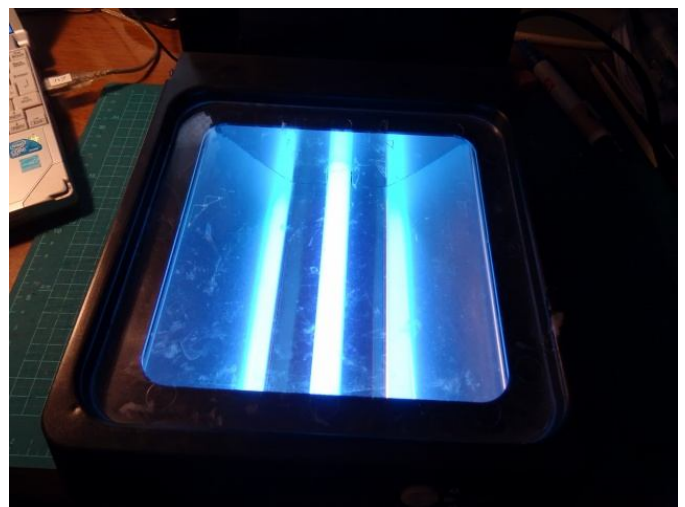
田中 千尋 Chihiro Tanaka



中には「はがきサイズ大」の印材(紫外線硬化樹脂)と、できた印面を台座に固定する、厚手の両面粘着シートが入っている。いずれもはがきサイズだ。



印材とは別に、この装置も必要だ。これも太陽精機というメーカーの「EZ スタンプ・匠(たくみ)」という商品だ。こちらと同じ方法で入手できる。やや高価だが、一つ持っていれば、一生重宝する品だ。



蓋を開けてスイッチを入れると、このように紫外線ランプが点灯する。器用な人なら自作可能だろう。

手作りスタンプづくりには、印材(スタンプの凹凸面の材料)が必要だ。私は、太陽精機というメーカーの「EZスタンプ(イージースタンプ)」という製品を利用している。写真のようなアルミ製の袋に入って市販されている。東急ハンズには常に在庫がありAmazonなどの通販でも入手可能だ。価格は1袋1000円ほどで、これで3cm角のスタンプを12個作れる。1個の印面単価は100円以下で、スタンプを業者に外注するのに比べて、かなり経済的だ。

紫外線硬化樹脂は、光—特に紫外線によって硬化するので、強い光に弱い。蛍光灯や白熱灯下での作業では問題ないが、直射日光は厳禁。窓際の光線が強い場所での開封・作業も避けたほうが良い。